

環境省 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 「重点対策加速化事業」に採択されました

この度、令和7年6月11日発表の環境省「令和7年度重点対策加速化事業」において、坂井市の計画提案が採択されましたので、ご取材賜りますようお願い申し上げます。

(1) 重点対策加速化事業について

地域脱炭素ロードマップ、地球温暖化対策計画等に基づき、脱炭素の基盤となる「重点対策」を、地域のニーズ・創意工夫を踏まえて、複数年にわたる意欲的な計画を加速的に実施する取り組みを支援するために環境省が交付する交付金制度です。

県内では令和5年度採択の福井県、令和6年度採択の越前市に次いで3例目となります。

(2) 事業計画のタイトル

産官金パートナーシップで築くオール坂井脱炭素イノベーションプラン
～テクノポート福井を中心とした地域エネルギー循環都市の実現～

(3) 事業の概要

	対象	内容	件数	再エネ導入量	交付金額	CO2削減効果
1	個人向け	薪・ペレットストーブの導入	40件		14,000千円	144t
2	事業者向け	敷地や工場などの屋根に太陽光発電設備の導入	41件	9,000kW	450,000千円	67,595t
		ソーラーカーポートの導入	12件	480kW	80,000千円	3,587t
		木質バイオマスボイラーの導入	2件		240,000千円	4,980t
		薪・ペレットストーブの導入	10件		3,500千円	36t
3	公共施設	嵩浄水場跡地における太陽光発電設備の導入	1件	397kW	50,000千円	3,434t
4	その他	ゼロカーボンさかいコンソーシアムの開催			25,000千円	
事業の効果			106件	9,877kW	862,498千円	79,776t

①市内の事業者を対象に、太陽光発電やソーラーカーポートの導入費用を支援することで、再生可能エネルギーの活用を推進し、産業部門の温室効果ガス排出量の削減を図ります。

②市民や市内の事業者を対象に、木質バイオマスボイラーや薪・ペレットストーブの導入費用を支援することで、坂井市で産出された木材（間伐材）の域内消費を促進します。化石燃料の消費削減や輸送時の温室効果ガス排出量を削減するとともに、森林資源の有効活用、林業の活性化を図ります。

③市の公共施設跡地に太陽光発電設備を導入し、発電された再生可能エネルギーを市の公共施設に供給することにより、公共施設で排出される温室効果ガス排出量の削減を図ります。

④市内の事業者（特定事業者 21 社、商工会会員 1800 社など）、エネルギー事業者、金融機関等と共に、産官学金で組織する「ゼロカーボンさかいコンソーシアム」を設立し、目標・課題・認識を共有することで地域の脱炭素を強力に推し進めるための基盤を構築します。

(4) 交付金額

8.6億円（総事業費 31.8億円）

(5) 事業計画の期間

令和7年度～令和11年度（5年間）

(6) これまでの脱炭素に関する取り組み

	時期	取り組み内容
ソフト事業	令和3年3月5日	ゼロカーボンシティ宣言
	令和4年度～	ストップ地球温暖化対策授業の実施（対象 小学6年生）
	令和5年・6年度	夏休み親子環境施設見学ツアーの実施（風力発電所・太陽光発電所の見学）
	令和6年3月	坂井市脱炭素ロードマップの策定
	令和6年3月8日	持続可能な地域づくりに関する協定の締結（Terra Charge(株)）
	令和6年7月・8月	ゼロカーボン市民ワークショップの実施
	令和6年8月27日	坂井市ゼロカーボン推進本部の設立
	令和6年11月16日	坂井市ゼロカーボン市民フォーラムの開催
	令和7年2月27日	ゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定の締結（特定事業所等）
	令和7年3月11日	J-クレジットに関する連携協定の締結（福井テレビ(株)、(株)バイウィル）
	令和7年6月27日	ゼロカーボンさかいコンソーシアムの設立
ハード事業	令和2年度～	公用車にEV自動車を導入
	令和4年度～	丸岡温泉たけくらべ、ちくちくぼんぼんへの木質バイオマスボイラーの導入
	令和4年10月1日	のうねの郷コミュニティセンターに太陽光発電を導入（オフサイトPPA）
	令和5年1月13日	イータク（オンデマンド型交通）の運行開始
	令和6年度～	個人向け太陽光・蓄電池設備導入促進事業補助金の実施
	令和6年度～	市内の公共施設にEV充電設備の設置
	令和7年度	地域脱炭素移行・再エネ推進交付金「重点対策加速化事業」採択